

基調講演

だいじょうぶな社会にむけた一歩

講師 ^{かさい きよと} 笠井清登 (東京大学医学部附属病院精神神経科教授)

座長 宇田川健 (NPO 法人コンボ)



トークライブ

おうちでトークライブ2022

～世界に伝えたいあなたのリカバリー～

司会 宇田川健 (NPO 法人コンボ)、他

シンポジウム

この時代に、自分に寄り添うことは (仮)

座長 川口敬之 (NPO 法人精神科作業療法協会 / 国立精神・神経医療研究センター)、宇田川健 (NPO 法人コンボ)

シンポジスト

水野雅之 (筑波大学人間系心理学域准教授)、

副島賢和 (昭和大学大学院准教授 / 昭和大学附属病院 院内学級担当)、他

プログラム



詳細はウェブサイトをご覧ください

分科会

10月29日

- ① **紡ぎ継ぐピアスタッフの想い ～これまで、今、そしてこれから～**
日本ピアスタッフ協会は 2014 年に誕生して今年で 8 年が経ちました。これまでの活動、ピアスタッフの状況を振り返ると、大きく変化してきたこと
もありますが、あまり変わっていない状況もあります。この分科会ではこれまでのことを振り返り、またこれからの展望を語り合います。
▶磯田重行 (日本ピアスタッフ協会)、宇田川健 (NPO 法人コンボ)、鷹尾和頭 (リカバリーセンターふくおか)、他
- ② **精神障がいがある人の恋愛と結婚**
精神障がいがあると恋愛をして新しい家族をつくることはタブーな話題になることがあります。この分科会では、結婚している精神障がい当事者や配偶
者から実際の恋愛経験や結婚生活を聴きます。恋愛や結婚についての固定観念を取り払い、大切な人・家族との関係を考える機会にしたいと思いま
す。
▶陸山正子 (大阪大学高等共創研究院)、横山恵子 (横浜創英大学)、前田直 (杏林大学 / 配偶者の会)、根本俊史・響子 (めんちゃれ)、野間慎太郎 (ハマッチャ)
- ③ **「WRAP® (元気回復行動プラン) とは? ～オンライン版・2022 年～**
《WRAP®》とは何でしょうか? この分科会では「WRAP®」を含むメンタルヘルスのリカバリー」の全体像を扱います。「今、使っているよ」という方、「初
めてきました!!」という方、「私は WRAP® ファシリテーターをやってます!」という方も、「一人一人、それぞれの関わり方」でご参加ください。
▶WRAP® ファシリテーター: 増川ねてる、片山理へ、はるてる
- ④ **変わりゆく医療の場: 現場からのレポート (仮)**
リカバリー志向の医療サービスの可能性を広げるために、病院単位での具体的な取り組みが必要とされています。この分科会では、とある病院にスポットライトをあ
て、医療の場で患者さんのリカバリーをどのように支えられるか (あるいは邪魔せずにいられるか) を、現場よりレポートします。
▶相澤和美 (国際医療福祉大学大学院)、中谷真樹 (住吉病院)、小川瑛子 (サポートハウスとびら)、澤田高綱 (ほっとぽっと)、川口敬之 (精神科作業療法協会)

10月30日

- ⑤ **思春期・自殺の若年化・ウィズコロナストレス (仮)**
この分科会では、「ウィズコロナ」生活の中でのストレス、自殺の増加・若年化について考えます。
▶張賢徳 (日本うつ病センター六番町メンタルクリニック)、相川章子 (聖学院大学)、他
- ⑥ **希望の職探しのい・ろ・は～IPSの知恵より～ (仮)** IPS = Individual Placement and Support: 個別就労支援
IPS はどんなに重い障害があっても自分らしく働くことができ、それがリカバリーに寄与するという考え方のもと行われる就労支援です。この分科会
では、IPS を紹介しながら「職場とのコミュニケーション」に注目し、IPS の実践家やユーザーの知恵をご紹介します。
▶池田真砂子・建石幸子 (リンアルン)、本多俊紀 (コミュニティ楽創)、大島みどり・岡田奈央子 (NECST)、IPS 利用者
- ⑦ **IMR 2022 (Illness Management and Recovery: 疾病管理とリカバリー)**
IMR は最初にリカバリーについて話し合い、それを実現するために病気やストレスの対処などについて、みんなで語り合いながら学んでくプログラムです。
この分科会では IMR を実践している施設から、IMR がリカバリーにどう役立つか、参加者が率直な感想を話します。
▶IMR ネットワーク: 中村亮太、藤田英美、武井寛道、中村正子、吉見明香
- ⑧ **オープンダイアログ ～体験をただ聞き合うということ～**
フィンランドの西ラップランド地方で生まれた、対話を中心とした精神保健システムであるオープンダイアログ。その根底には、一人ひとりの体験を病
気や診断という文脈で書き消さず、すべての人の声をじっと聞き合う姿勢があります。この分科会では、体験をただ聞き合うことについて、語り合います。
▶三ツ井直子 (訪問看護ステーションシナモロール)、村井美和子 (マヤカのいえ)、福井里江 (東京学芸大学)
- ⑨ **10 代からのメンタルヘルス ～高校でスタートした精神疾患についての教育～**
40 年ぶりに高校の保健体育で「精神疾患」の授業がスタートしました。この分科会では、10 代のメンタルヘルスに向けて生きた授業が展開されるこ
とを願い、精神科の専門家・教育の専門家・当事者からの意見や希望をもとに、共に考えます。
▶福田正人 (群馬大学大学院)、網島毅 (群馬県教育委員会)、島本祐子 (杉並家族会)、宇田川健 (NPO 法人コンボ)、他
- ⑩ **トラウマインフォームドアプローチから見えてくる寄り添い共にいるためのヒント**
トラウマインフォームドアプローチ (TIA) では、当事者だけでなく家族、支援者、支援機関に所属するスタッフなど、システム全体でトラウマを理解し、
改善のための工夫を行います。この分科会では、チームにおける寄り添い・寄り添われる体験をお話しすることで、TIA の持つ力を探っていきます。
▶ユキ・アポカド (フリーランス)、吉田佳子 (当事者家族)、宮城整 (長谷川病院)、片山皓絵・遊佐安一郎 (長谷川メンタルヘルス研究所)

※プログラム・出演者は変更する場合があります。(2022.08)